

商 況

◎内國市況 (五月上中旬)

製鐵所に於ける從來の鐵材拂下は今回全く拂下の方法を一變し同所よりの拂下を行ふへき鐵材は滿二箇年以來引續き鐵商を營む者又は現に鐵工業造船業に従事し居る者は自由に入札を以て拂下を行ひ得る事となり而して現品の引渡は契約締結後二箇月以内に製鐵所海岸にて買受人より差廻しの汽船艀又は製鐵所構内にて買受人差廻しの貨車に積込一回又は數回に引渡を爲すと同時に東京横濱大阪神戸に於ける日本郵船倉庫にて現品の引渡を希望する者に對しては左記運賃を加算して便宜廻送すへしと

東 京	一千疋	一五、三四
横 濱	同	一四、八四
大 阪	同	九、二二
神 戸	同	九、八四

銑鐵 四月より出銑の豫定なりし三菱兼二浦銑鐵は作業遅れ五月下旬に至り漸く火入れの趣に付銑鐵の市場に現はるゝは七月よりと見るを至當とすべく又輪西、釜石の銑鐵は年内賣物なく各種の屑鐵も殆んど使ひ盡したるの感あるを以て相場極めて底強く三百六十五圓唱へ再製銑も

從來二百二十圓の處二—三十圓方高唱へ尙目先多少の高値免れさるへし。

漢陽銑鐵は六月積以降賣物あるも横濱沖着二號三百五十五圓、三號三百五十圓唱へにて東京相場より著しく上鞘にあり當分成約の見込なし。

鐵類 鐵板類は引續き氣配宜しく並時三十四、五圓の成行を呈し居れとも何分品薄の爲め荷動き活潑ならず。

棒類は入電安と在荷嵩みとの爲め相當の荷動きあるに不拘市況引立たす丸棒の如きは十二圓掬みの賣前にて並時平均十三圓見當、角平物は多少高値を唱へ十四、五圓掬み

枝光製鐵所にて十五、六兩日に在庫品棒鐵、型物、鋼板取合せ約一萬噸の拂下公入札を施行したるか其結果入札者別表の如し。

鉾力板 氣配益々軟弱百七十封度七十七、八圓掬み百封度四十二圓見當を唱ふ本國の入電安の爲め先行氣配益々軟弱なり。

亞鉛 依然として閑散の域を脱せず一號二十五圓、二號二十四圓唱

鉛 濠洲入電不定にしてメルボルンよりの入電は六月積四十八磅を唱ふるも斯る高値は見込なく市中相場は依然現物二十六圓唱持合

錫 初旬新嘉坡入電百七十八圓か月末百九十四圓に騰りし

大正七年五月十五日施行分 ◎印落札したる金高

第一日 落札最高單價壹應に付

物板鐵

三三八
九〇三
二二・
一〇入^甲
三〇五

◎印は落札したる金高太字は再入札

付 形銅棒 物板鐵

四八三三
〇〇三七^四
一五〇
六六八

も市中相場は引立たず香港三號二百二十二圓入電を見た
るも到底買氣なし現物依然二百十五圓中值持合

安質母尼 漢口入電精製三百七十圓を傳へ相當の成約を見
るも内地現物は品薄の爲め二十七圓見當保合

銅及眞鍮板 造船熱の減退と共に本品内地需要も減切減退
し厚物眞鍮板七十八圓、銅板八十九圓見當、一般に工場
は先物注文薄の爲め多少焦り氣味なり、海外引合も閑散
只運賃の昂騰を豫想して思惑的の買込多少行はる

銅、電氣型銅六〇圓七〇錢賣を唱へ底意弱はし、住友精製
型銅六〇圓、先弱を見込み賣急きの體なり。

◎英國金物市況(四月上旬)

倫敦商況

銅 米國の現狀も多少不安の念を惹起しつゝある模様なる
か又一面東洋方面の各工場も原料不足の爲め急迫を告げ
つゝあり而も政府並に聯合國の需要著るしき高に上りつ
ゝあるも將來の方針更に豫想出來す一般氣迷ひの態にて
唯七月一日以降公定相場を一封度二五仙に値上すへしと
の議論囂し。

錫 同品の市場に現はるゝもの次第に影を絶ち例の按分法
の施行以來商品の市場に上ほるもの尠なく多くは直接商
人の手中に入りつゝあるも各商人共豫想の數量を手にし
る能はざる爲め尙不滿を洩らしつゝあり。

在 荷 倫 敦(三月卅一日) 六三五噸 (ストレート、豫洲バ
ンカ、支那、英國品)
リバプール(三月廿九日) 九七八噸 (ストレート、バンカ、
英國製品等)

相場東洋よりの冲着値段

四月二日 一二五噸 三二七磅
// 三日 一五〇噸 三二七磅一〇志

鐵類

銑鐵は依然として需要多く運送不如意の爲め製造家は一
入困憊しつゝあり。

半成品 ビレット及板鋼片に對する公定相場は一〇磅七
志六片にて變りなく政府の需要陸續其度を増加し殆んど
全生産高は戰爭用に吸収されつゝあり。

既成品 鋼鐵製品に對する軍需品の要求更に弛緩せず而
し目下何れの製造工場によるも分類表に示さるゝ
ものより安物手に入るゝ能はざる状態に在り。

聯合國向輸出品としては唯砲彈鋼材(相場一九磅一〇志
より二〇磅)を見るのみにして偶々棒鋼、棒鐵の引合を
散見するに過ぎず相場前者一七磅一〇志、後者一六磅一
〇志唱へ、形物類一六磅一五志と呼ぶ。

鋳力板 市場引立たず公定相場以下を以て取引容易なり、
或は政府の干涉により按配法を執るならんと噂され之れ
か爲め市況回復を豫測するものあれと未だ斯法の適用を
見す一般ダレ氣味なり。

相場 28×14 建三〇志四ノ片

鉛 近く米國製造品の増加を報するものありて其原因はメキシコより原料到着の爲めなるへし兎も角米國の立場は益々先行弱見込なり公定相場依然變りなし。

亞鉛 供給豊富にて未だ何等急を告げず公定相場變りなし
濠洲物九九、九%保證品濠洲船乗渡し六〇磅より六三磅唱へ、亞鉛末の供給少し減したるやの感あり。

米國市況、活氣なし一般需要減少につれ運送狀態未だ不如意の爲め製品の取扱抄々敷からず。

指値七仙より六、七五仙なるも輸出引合皆無の由。

亞鉛引鐵板 取引閑散にして政府需要並に聯合國向手合はせ少し出來たるのみ、相場變りなく波板束物二四番、建二八磅一〇志唱へ。

◎米國金物商況(四月上旬)

米國市況

米國の製鋼業は各方面への熔鑪に對し骸炭の供給増加し來れるを以て製銑噸數著しく増加し目下の爐數三百四十四基の報告を綜合すれば二月中平均一日八二、八三五噸なるに反し三月中平均一日の製銑噸數一〇三、六四八噸、一日約二二〇、〇〇〇噸の増加を示せり。

鑄つて製品工場方面を一瞥すれば鋼板殊に造船用鋼板に對する政府側の壓迫實に甚敷、全製産噸數の少なくとも七五%は政府筋の御聲掛りを以て作業しつつある狀態な

り而して残り二五%も一々製品の行衛、積出等詳細政府に届出の必要あり。

久敷日本との交渉行惱みに在りし鋼材十萬噸(大部分鋼板)も愈々解決に到り既に太平洋海岸迄積出され居るものも尠からず政府禁輸令の爲め日本への積出絶對杜絶の狀態なりしか右問題の解決により造船鋼板九仙乃至十仙の代價を以て既約定品は茲に全く抹消されたる譯なり。

ピッツバーグ

銑鐵 實際に於て銑鐵は市中取引停止の狀態にして需要者は多きも賣人なし。

相場 ベーシック銑鐵三二弗、ベセマー三五、二〇弗

鑄物用 三五、五〇弗

ビレット及板鋼片 同品も亦賣人なく製造工場亦既約注文品に追はれ市中賣物の餘力なし兎も角ベーシック鋼材の供給毫に缺乏し居り辛うしてベセマー鋼を以て代用し政府の需要一點に忙殺されつつあり。

相場 ハ、マ、ベセマー軟鋼及平爐鋼ビレット四七、五〇弗

板鋼片 五一弗

鐵合金物 八〇%のフェルマンガニーズ缺乏中なりしか近來漸く之れが製作を見るに到り同品は又他の鐵合金物に比し需要最も盛んなり。

相場 フェロマンガニーズ七〇―八〇%二五〇弗―二九五弗

フェロシリコン

五〇%一七五弗―一八〇弗

スビーゲルアイゼン一八二〇% 六五弗七〇弗
軌條 鑛山用輕軌條の需要盛んなるも政府の注文に追はれ

市中賣物の餘力なくカネギ一の如き來年上半期の輕軌條
既に賣約せる模様なり。

公定相 二五—四五封度もの一〇〇封度に付三弗

建築材 一般に引合なし唯政府が依然として多額の注文を
續發しつつあるのみ。

相場 工形、溝形一五吋迄三仙

鋳力板 引合としては纔かに政府の需要品少量を散見する
のみにて一般に引合なし昨冬來の風雪、貨車不如意によ
り一時工場に堆積せられたる製品も其後八〇萬箱を減し
目下百二十萬箱の在庫となり居れり。

目下日本よりの引合十五萬箱の口ありと聞く。

相場 ベセマー又は平爐鋼 一箱に付七、七五弗

銅板 カネギ一、ジョンローリン、レバブリック、其他の

各大製板工場共政府の大口注文を引受けたる由、市中相
場としては

厚五吋以上のもの(截斷板)工場渡三、二五仙

薄鋼板 政府の需要頓に激増したるも此等は皆各工場に按
配注文せられ政府注文の斯く増加したるは佛國內村落の
戰火の爲め荒廢したる跡に小家屋を設立する爲め鐵波板
の需要一時に喚起したる理由による市中相場は公定相場
以上なり。

ブルユーアンニ 一五—一六番四、四五仙(一封度に付)

ポックス、アンニ 二四番 四、八五仙(同)

棒鋼鐵 市況活潑引合多し。

相場 ビレット鋼より壓延されたるもの二、九〇仙

舊軌條より壓延したるもの三仙

紐育金物市況

銅 市況先行軟弱の氣配、需給正に調和の現象と見るへし

公定相場 二三之仙

錫 買手ポツポツ出て來るも賣人更になし先物取引亦出來
す。

倫敦相場變りなしストレート現物一噸に付三一七磅一〇

志唱へ。

鉛 市況極めて平靜なり相場紐育七、二〇仙、セントルイ七
仙を呼へり。

亞鉛 公定相場を以て市場は支配を受けつつあるも市況何
んもなく沈靜なり。

相場 第一號品公定一二仙を唱へつつあり。

アルミニウム 相場は公定値段による引合閑散。

市中唱値三二仙より三二、二〇仙

アンチモニー 需要少なく市況相場日本支那品稅込二三仙
以下を唱へつつあり。

